

1. 圏域の概要

(1) 水産業の概要

① 圏域内に位置する市町村および漁業協同組合の概要

当圏域は沖縄本島から南西約 300 kmに位置する宮古諸島にあり、第2種荷川取漁港を拠点に1市1村3漁協からなる圏域である。圏域全体の陸揚げ金額は約8億円（令和元年）に上る。なお、圏域内漁業組合における合併に関する協議は行われていない。

圏域内に位置する宮古島市は、第2種荷川取漁港他13漁港を有している。荷川取漁港の産地市場では、主にマグロ類や沿岸鮮魚類が陸揚げされるほか、市内や圏域内の漁港から水産物が集荷され、県内・島内に出荷されている。また、圏域内の生産拠点に位置づけられている佐良浜漁港では、ひき縄釣りや一本釣りによるマグロ類やかつお類が陸揚げされており、相対取引等により県内・島内に出荷されているほか、圏域内の沿岸海域ではモズク類の養殖が盛んに行われており、圏域内の各漁港に陸揚げされ、荷川取漁港の加工施設に集荷・加工され、相対取引等により県外・県内に出荷されている。さらに、宮古島漁協では、佐良浜漁港で漁業体験や民泊等により地域の活性化に貢献しているほか、同漁港内で水産物レストランを行っており、地元客を中心に賑わいをみせている。

多良間村は、第1種多良間漁港、前泊漁港を有しており、ひき縄釣りや潜水器漁業によりマグロ類や沿岸鮮魚類が両漁港に陸揚げされ、浜売り等により島内に流通されている。

② 主要漁業種類、主要魚種の生産量、資源量の状況

圏域における水産物の生産量は2,086トンとなっている。主な漁業種類及び魚種として、海藻類養殖業やはえ縄釣り、一本釣りであり、モズク類やマグロ類、かつお類である。また、主要魚種の実生産量は、モズク類で942トン、マグロ類で489トン、かつお類で272トンとなっている。

圏域全体では、宮古島と沖縄本島及び宮古島西方にあるソネ（海底丘陵）において、マチ類の資源回復計画に基づく保護区が設定されているほか、宮古島漁協において宮古島におけるサンゴ礁などの沿岸海域における水産資源の減少に鑑み、ハマフエフキやシラヒゲウニの放流を行っており資源管理に取り組んでいる。

③ 水産物の流通・加工の状況

当圏域では、圏域内の漁港内に1箇所の産地市場が開設されており、鮮魚類を

中心とした水産物は当該産地市場を通して県外・県内に出荷されているものの、特定魚種や離島地域においては、相対取引や浜売りにより地域内外に流通されている。また、圏域内にモズク類を対象とした加工施設が荷川取漁港内に隣接されており、ほとんどが1次加工され県外・県内に出荷されている。

④ 養殖業の状況

圏域における主要な養殖水産物の生産量は令和元年で983.5トンとなっている。主な水産物としてモズク類やヒトエグサ、車エビであり、特にモズクにおいては、圏域内の多くの沿岸海域で盛んに行われており、圏域全体のモズク陸揚量のすべてが養殖モズクとなっている。また、荷川取漁港においては養殖生産拠点地域に位置づけており、種苗生産から加工まで一貫した体制が整備されている。

⑤ 漁業経営体、漁業就業者（組合員等）の状況

令和元年における圏域内の組合員数は841人、漁業経営体数は726体であり、平成26年に比べ、それぞれ43人（5%）増、158体（20.8%）減で、漁業経営体数は近年減少傾向にあるものの、組合員数は増加傾向にある。

⑥ 水産業の発展のための取組

宮古島地区では、浜の活力再生プランにおいて魚価向上のための鮮度管理や漁場の使用方法を見直すことによる水揚量の増加に向けて取り組んでいる。また、佐良浜漁港においては荷さばき所、一次・二次加工室、海鮮料理専門の食堂、体験・魚食普及室、直売所、漁業協同組合の事務所が一体となった海業支援施設を整備しており漁業や魚さばき体験、民泊利用を行うなど水産業経営基盤の強化と地域振興を図っている。

⑦ 水産基盤整備に関する課題

圏域内における水産基盤においては、水産業の成長産業化の実現に向けた水産物の安定供給の確保、海洋環境の変化に対応した浮魚礁等の整備、漁港施設の予防保全型等の老朽化対策、海業による漁村の活性化、多様な人材が活躍できる漁港・漁村の環境整備などの課題を抱えている。

⑧ 将来的な漁港機能の集約化

集約化の予定なし

(2) 圏域設定の考え方

① 圏域タイプ	外海離島型	設定理由；離島である宮古島及び多良間島は、沖合には浮魚礁が設置され、マグロ類やカツオ等の良好な漁場を有している。宮古島周辺海域での水産物の生産強化及び市場への安定供給を図る必要がある圏域。
② 圏域範囲	宮古島市、多良間村	設定理由；生産拠点漁港である荷川取漁港を主な集荷先としている範囲
③ 流通拠点漁港	該当無し	設定理由；
④ 生産拠点漁港	荷川取漁港	設定理由；当漁港の港勢は登録漁船73隻であり、圏域内における他漁港で陸揚された漁獲物が集荷されている。 また、台風等荒天時における避難漁船の安全係留施設が確保されている。
	池間漁港	選定理由；当漁港の港勢は登録漁船65隻であり、宮古島北部の前進・避難基地として、製氷施設や給油施設等が完備されている。また、台風等荒天時における避難漁船の安全係留施設が確保されている。
	佐良浜漁港	選定理由；当漁港の港勢は登録漁船79隻であり、宮古圏域内における最大の漁獲量を誇り、県内最大のカツオの産地となっている。漁港内には製氷施設や給油施設等が完備され、また、台風等荒天時における避難漁船の安全係留施設が確保されている。
⑤ 輸出拠点漁港	該当無し	設定理由；

(令和元年)

圏域の属地陸揚量(トン)	2086.6	圏域の登録漁船隻数(隻)	499
圏域の総漁港数	16	圏域内での輸出取扱量(トン)	
圏域で水産物の水揚実績がある港湾数			
当該圏域を含む養殖生産拠点地域名	荷川取漁港		
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における主要対象魚種	モズク類		
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別生産量(収穫量)(トン)	588.6		
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別海面養殖業産出額(百万円)	78		

2. 圏域における水産基盤整備の基本方針

(1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

① 拠点漁港等の生産・流通機能の強化

・地域の中核的な生産拠点となる漁港において安定した漁業生産等に資する施設として係留施設等の強化を図る。

② 養殖生産拠点の形成

・本圏域の主力水産物であるモズクの養殖生産拠点地域において、防暑施設等の整備により品質管理体制の強化を図る。

(2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

① 環境変化に適応した漁場生産力の強化

・沿岸域の資源低下等の海洋環境変化に対応し沖合域への漁業展開を促進するため、浮魚礁の整備を行うとともに、海域の環境変化を把握するため亜熱帯海域の重要な基礎生産の場であるサンゴのモニタリングを行う。

② 災害リスクへの対応力強化

・老朽化が進行している漁港施設において、効率的な維持管理を行うとともに機能保全計画の見直しや予防保全型の老朽化対策を実施することにより、持続可能なインフラ管理を推進する。

(3) 「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

① 「海業」による漁村の活性化

・漁場就業者数の減少等により漁村地域の活力が低下している漁港において、浮棧橋等の整備し、プレジャーボート等の受入環境を整備することにより、漁港の

利用適正化による活用促進を図る。

②地域の水産業を支える多様な人材の活躍

・高齢化等により生産活動を支える人材が減少してきていることから、多様な人材が安全で働きやすい環境が整備されていない漁港において、浮体式船岸や防暑施設等を整備し、就労環境の改善を図る。

3. 目標達成のための具体的な施策

(1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

①拠点漁港等の生産・流通機能の強化

地区名	主要対策	事業名	漁港・港湾名	種別	流通拠点
池間	流通機能強化	水産生産	池間	4	

・地域の中核的な生産拠点となる池間地区において、安定した漁業生産等に資する施設機能の強化として防波堤や浮棧橋等の整備により、産地における価格形成力の向上と生産・流通コストの縮減を図る。

②養殖生産拠点の形成

地区名	主要対策	事業名	漁港・漁場名	種別	流通拠点
荷川取	養殖拠点	水産生産	荷川取	2	

・モズクの養殖生産拠点地域である荷川取地区において、就労環境改善のため防暑施設等の整備により、国内外の需要に応じた安定的な養殖生産を行う拠点の形成を促進する。

(2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

①環境変化に適応した漁場生産力の強化

地区名	主要対策	事業名
沖縄	環境変化	水産環境

・沖縄地区において、沿岸域の資源低下等の海洋環境変化に対応し、沖合域への漁業展開を促進するため、浮魚礁の整備を行うとともに、圏域内の沿岸海域において、海域の環境変化を把握するため亜熱帯海域の重要な基礎生産の場であるサンゴのモニタリング調査を検討する。

②災害リスクへの対応力強化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
池間	予防保全	機能保全	池間	4	
荷川取	予防保全	機能保全	荷川取	2	
池間	予防保全	漁村環境	池間	4	
久松	予防保全	漁村環境	久松	1	

・池間地区ほか3地区において、老朽化が進行している漁港施設の機能保全計画の見

直しや予防保全型の老朽化対策を行う。

(3) 「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

① 「海業」による漁村の活性化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
佐良浜	活用促進	漁村活性化	佐良浜	2	

・佐良浜地区において、漁港内の空きスペースを活用して遊漁等のための係留施設等の整備により、漁港の利活用の促進を図る。

② 地域の水産業を支える多様な人材の活躍

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
池間	就労環境	水産生産	池間	4	

・池間地区において、浮棧橋等を整備し、就労環境の改善を図る。

4. 環境への配慮事項

・整備計画の策定及び工事の実施にあたっては景観、近隣住民との調整に配慮し、施工にあたっては水質悪化により漁業被害、サンゴ礁等に対する環境破壊等が生じることがないように留意する。

5. 水産物流通圏域図

